

2024年2月28日

保護者のみなさまへ

園田学園中学校・高等学校

校長 厚田 太加志

2023年度学校教育診断保護者アンケート結果について

向春の候、保護者のみなさま方にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。平素は、本校の教育活動にご理解とご協力をいただきまして、ありがとうございます。2学期末実施の「学校教育診断保護者アンケート」にご協力をいただきましてありがとうございました。その結果についてご報告申し上げます。この結果をふまえて、保護者のみなさまにさらに満足していただける教育活動を教職員一丸となって展開してまいります。

1. 調査概要

調査目的:本校教育に関する保護者の方々の評価をふまえ、より良い教育を創造する。

実施日:2023年12月

対象:全校生の保護者

回収:93.9%(460名/490名)

2. 調査結果について

「A=よく当てはまる」「B=やや当てはまる」「C=あまり当てはまらない」「D=全く当てはまらない」の回答について、「A+B=肯定的回答」「C+D=否定的回答」と表現し、80%以上を「多い」60%以下を「少ない」と表現しています。

(1)肯定的な回答が多かった項目(37項目中26項目)

- ・学校は、教育目標・教育方針をわかりやすく伝えている。88.5%(2022年87.4%)(2021年86.3%)
- ・学校は、日頃の教育活動や教育内容の情報を積極的に伝えている。
90.9%(2022年92.1%)(2021年88.8%)
- ・学校は、子どもの安全や健康・衛生管理に努力している。93.7%(2022年93.3%)(2021年93.1%)
- ・学校の教育環境は、施設・設備の面で満足できるものである。
96.1%(2022年97.9%)(2021年95.2%)
- ・学校は、家庭への連絡や意思疎通を行っている。90.6%(2022年88.3%)(2021年87.9%)
- ・学校は、省エネや環境保護にしっかりと取り組んでいる。81.6%(2022年87.4%)(2021年76.9%)
- ・学校は生徒の安全指導についてしっかり取り組んでいる。89.7%(2022年87.8%)(2021年88.6%)
- ・本校を、知人や友人にすすめたいと思う。87.9%(2022年86.2%)(2021年81.3%)

- ・子どもを本校に入学させて良かったと思う。 87.9%(2022年 91.2%) (2021年 89.2%)
- ・先生は、子どもの学力や能力・努力を適切・公平に評価している。 86.8%(2022年 88.1%) (2021年 84.0%)
- ・子どもは、学校に行くのが楽しいと言っている。 83.5%(2022年 86.1%) (2021年 83.4%)
- ・先生は、子どものことをよく理解してくれている。 86.7%(2022年 84.6%) (2021年 78.2%)
- ・先生は、子どものまちがった行動に対して厳しく指導してくれている。 89.1%(2022年 88.0%) (2021年 80.7%)
- ・学校の生活指導の方針(服装・頭髪・遅刻等の指導)に共感できる。 82.3%(2022年 84.1%) (2021年 81.3%)
- ・学校は、生命や人権を尊重する意識を育てようと努力している。 83.6%(2022年 87.5%) (2021年 76.9%)
- ・「日本の伝統文化の学び」の授業は意義がある。 82.4%(2022年 87.5%) (2021年 86.6%)
- ・学校の部活動は盛んで、子どもは積極的に参加している。 80.1%(2022年 81.7%) (2021年 70.9%)
- ・学校行事の内容は充実していて、子どもは積極的に参加している。 93.3%(2022年 91.7%) (2021年 80.5%)
- ・学校は、保護者の願いに応えようと努力している。 86.4%(2022年 83.8%) (2021年 80.7%)
- ・学校での対応や、電話で話すときの教職員の対応は適切である。 95.2%(2022年 95.9%) (2021年 92.9%)
- ・学校は、地震や台風など非常時の対応を、子ども・家庭に適切に伝えている。 94.8%(2022年 92.5%) (2021年 92.7%)
- ・家庭では、子どもと学校のことによく話をする。 90.7%(2022年 90.6%) (2021年 88.2%)
- ・家庭で、スマートフォンやタブレットなどの取り扱いや必要性などについてきちんと話し合っている。 87.5%(2022年 92.9%) (2021年 84.2%)
- ・子どもは、情報モラルについて理解し、スマートフォンやタブレットなどを正しく利用している。 85.5%(2022年 87.9%) (2021年 91.9%)
- ・学校からの Classi のお知らせや生徒の学習状況をよく利用している。 89.6%(2022年 88.3%) (2021年 80.5%)

(2)肯定的な回答が少なかった項目(37項目中0項目)

今年度、肯定的回答が60%以下の項目はございませんでした。

3.まとめと今後に向けて

肯定的な回答が多かった項目は37項目中26項目(2022年度33項目・2021年度24項目)あります。

一方、肯定的な回答が少なかった項目が0項目(2022年度0項目・2021年度2項目)でした。また、肯定的な回答が60%を超えているものの、わたしたち教職員が認識しなければならない課題もあります。

- (1) 今年度も「生徒が自らの目標を持ち」「課題を見つけて」「自主的に計画的に学習に取り組む」ことができるように、授業改善に取り組むことを目標に取り組みました。

「子どもは、学校の授業が楽しくわかりやすいと言っている」の肯定的回答が69.1%(昨年75.1%)、「子どもは、家庭でも学習にがんばって取り組んでいる」の肯定的回答が75.7%(昨年80.7%)という結果でした。同時に実施した生徒アンケートでは、「授業はわかりやすい」の肯定的回答が68.4%(昨年62.3%)「宿題・予習・復習にしっかり取り組んでいる」の肯定的回答が64.3%(昨年63.2%)という結果でした。これらの項目は、満足度を高めていかなければならない重要項目です。全教職員が「わかりやすい授業」の展開や「自主的に学習に取り組む」ことができるように、一層の授業の研究、改善に取り組まなければならないと認識しております。

- (2) 生徒の声を聞き逃さず生徒の想いに応える感性を磨くこと、さらに、学校が楽しく、自らを成長させる場所であることを、生徒が実感できる環境づくりに取り組みました。しかしその結果、「子どもは学校に行くのが楽しいと言っている」が83.5%(昨年86.1%)と昨年より数値が下がってしまいました。また、生徒アンケートの「学校生活について先生の指導は納得できる」についても肯定的回答が66.3%(昨年59.1%)と「低い」数値という結果が出ました。学校生活は、教職員と生徒、そして生徒同士の信頼関係で成り立っています。教職員が生徒に向き合い、生徒の声や想いを受けとめて取り組む必要性を改めて認識いたしました。

自由記述の意見欄では、厳しいご意見、緊急に解決すべき課題も寄せられました。

このようなご意見を全教職員が真摯に受け止め、保護者のみなさまのご期待にお応えできるよう、種々の課題を早期に解決すべく、全教職員で取り組んでまいります。

今後とも、ご理解ご協力をお願いいたします。